欧米の市民革命と人権思想

市民革命で、どのような考え方が生まれ、広がったか

人権の考え方を示した思想家（啓蒙思想）

ロック（イギリス）
人は生まれながらに自由・平等。
政府が権利を守らなければ抵抗できる

モンテスキュー（フランス）
『法の精神』
権力を立法・行政・司法に分ける

ルソー（フランス）
『社会契約論』
人民が国の主権をもつ

イギリス

1642年	ピューリタン革命
1688年	名誉革命
1689年	権利章典：議会の同意のない課税などを禁じる

アメリカ

1775年	独立戦争が始まる
1776年	独立宣言：人は平等で、生命・自由・幸福追求の権利
1787年	合衆国憲法（三権分立）

フランス

1789年	フランス革命が始まる
1789年	人権宣言：自由・平等、国民主権、権力の分立
1792年	共和政になる

広がりと今へのつながり

自由・平等・国民主権・権力分立の考えが各国に広がり、
今の憲法や民主政治（日本国憲法を含む）の基礎になっている。

年は教科書で一般的な表し方。人物の姿や絵画は描いていない。